

# 令和の大普請で藤井製瓦工業 福山城の破損瓦でチップ製造

## 市に2万5千枚分を寄贈



福山城の改修工事で破損した瓦の交換などを行った藤井製瓦工業（福山市御幸町下岩成一〇九七、藤井孝浩社長）

用する考え。

殿、鏡檜の瓦の点検を行った上で、破損していた瓦を交換した。交換枚数は約二万五〇〇〇に上り、同社が廃瓦を粉砕して作るリサイクル商品「瓦チップ」に加工。改修後の福山城で活用してほしいと市に寄付を申し出た。チップの大きさは約一五センチ。保水性に優れ、主に公園や住宅の庭で舗装用の素材として使われている。市では福山城の敷地内に敷き、防水や案内板の水はね防止などに活用する考え。

「もともと城にあった瓦なので、福山城で生かしてもらえたら」と話す藤井社長に対し、枝広市長は「瓦を再利用して無駄にしないという立派な心掛け。有効に活用したい」と感謝した。

同社では事業を通じ、年間五〇〇トンの瓦の廃材が出るといいう。「少しでも廃棄を減らしたい」と五年前から瓦チップ

「令和の大普請」と称する福山城の改修工事の際し、同社は天守をはじめ月見櫓や湯

の製造を手掛け、「びんごテコラ」のブランド名で販売している。「瓦がリサイクルできることを知ってほしい」と藤井社長。

## 徳永製菓が8月の新作販売 ペペロンチーノミックスナッツ ふるさと詰め合わせセットも

豆菓子製造・販売の徳永製菓（福山市胡町四一二）、上迫豊社長は、8月の新作豆菓子「ペペロンチーノミックスナッツ」の写真を掲載し、販売を同社直営の豆徳本店などで始めた。

「三種のミックスナッツにペペロンチーノオイルを付け、イタリア産のパセリを加えた。オイルはバジル、タラゴン、セージなど香り高いハーブ類から抽出。アクセントに、にんにくも加えた。「おつまみにオススメです」と同社。八〇円入りで六四八円。同社は1869年創業。伝統的な豆菓子を中心に、フル

ーツ味のカラフルな豆やナッツ菓子も製造する。長年培ってきたコーティング技術を活用し、さまざまな商品を展開している。お盆の帰省時の土産として、同社の人気商品を詰めた「ふるさと詰め合わせ」（二二〇〇円）も販売中。



問 豆徳本店 ☎084・922・2710

## 光小6年「ばらプロジェクト」 バラお香作りの検討進む

2025年に福山市で開催される「世界バラ会議福山大会」を応援しようと、市立光小（同市草戸町四一四）一、山室和恵校長は昨年年度「ばらプロジェクト」を発足させ、六年生児童が大会参加者への土産として「バラのお香」作りに取り組んでいる。

7月27日は、お香作りに必要なバラオイルの抽出について授業で検討した。バラオイルはバラ一〇センチから二センチしか取れないために福山の産のバラだけで賅うのは難しく、どうすれば必要な量を確保できるかが課題となっている。

この日の授業は二クラスに分かれて実施。プロジェクト発案者で「子どもが科学に親しむ場を創る会」の三谷千城代表が講師を務め、児童からは「芦田川の河川敷にバラをたくさん植える」「バラの花びらをお香に混ぜては」といった声が上がった。



年度内に商品の具体化を進め、来年度以降に生産のめどをつけてバラ会議に間に合わせる計画。